

令和7年度第2回小牧市少年センター運営協議会 議事要旨

【日 時】 令和8年2月19日（木） 午前10時～午前11時

【会 場】 小牧市役所 本庁舎4階404会議室

【出席委員】 安藤会長、田上委員、井上委員、大谷委員、星熊委員、上井委員、川崎委員、河内委員、松本委員

【欠席委員】 宮本委員

【事務局】 川尻こども未来部部長、小川課長、植松少年センター所長、杉浦副所長、千種指導員、梶浦指導員、若林係長、岡野

【ガザパー】 坂田主幹（市民安全課）、高堀指導主事（学校教育課）

【傍聴者】 なし

【内 容】

1 あいさつ（部長）

本日は年度末の大変お忙しいところ、会議に出席賜りましてありがとうございます。また皆様には日頃から青少年の健全育成に格別のご尽力を賜りましてありがとうございます。

さて、不登校児童の増加など、青少年の抱える問題は、社会の変化とともに、日々変化し、複雑化しておりますが、少年センターでは、少年の非行や被害を未然に防止し、青少年の健全育成を図るため、街頭パトロールや市民への啓発活動、相談事業などの活動をしております。

今年度は、より多くの市民の方へ啓発できるように、7月の非行防止の啓発や、1月の家庭の日の一斉啓発活動を、これまでは平日に実施しておりましたが、週末に実施いたしましたところ、大変多くの方に啓発することができました。今後も様々な課題の解決のために、関係機関と連携を密にして、青少年の健全育成の推進に努めて参りたいと考えております。

本日は今年度の事業経過報告と、来年度の運営計画案を議題としております。皆様からの忌憚のないご意見をお願いしまして、簡単であります但し挨拶とさせていただきます。

あいさつ（安藤会長）

皆様には定刻までにお集まりいただきまして大変ありがとうございます。また日頃より、小牧の子どもたちのために、お力添えをいただいておりますことにこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

私も年とともに感動することがあまりなくなって参りましたが、ミラノ・コルティナ五輪を見ておりました、久しぶりに感動しました。りくりゅうペアの演技は本当に宇宙一だという例えがありました、私も思わず画面に本当に見入ってしまいました。

彼らの言葉の中に、「諦めないことの大切さを学んだ」という言葉を言われましたが、本当に画面を見ていた小牧の子どもたちも、ひよっとして、諦めないで頑張ると何か報われることもあるんじゃないかというような教訓が出来たのではないかと、本当に久しぶりに若者の躍動する姿を見て、私も元気をいただいたと思っています。

全く話は脱線しましたが、今日は慎重審議よろしくお願ひしたいと思ひます。

2 議題

- (1) 令和7年度事業経過について
- (2) 令和7年度補導活動状況について
- (3) 令和7年度相談受理状況について
- (4) 令和7年度青少年健全育成モニター活動状況について

○資料に基づき少年センターより説明

【質疑応答】

(星熊委員)

児童生徒が不登校になっている理由を相談の中で話したり、聞いたりしているのか。

(事務局)

一言でこれといえるものではなく、それぞれのケースでいろいろな原因があるが、少年センターに相談しているケースでは、学校での人間関係でトラブルがあったというものが多い。先生との関係や元々のその子の性質、発達障害に原因があるなど色々なケースがある。

(田上委員)

学校現場としましても不登校生徒が非常に増加傾向にあるので問題にしている。原因には複合的な要因が絡んでいる。家庭が本来、家から外へ押し出して欲しいところでなかなか押し出せないという状況や、そのような親子関係がある。

学校としてはいつでも登校できるような体制は整えているが、結局のところ家から出ない場合はなかなか対応も難しいというのが現状。

(委員長)

不登校については、学校へ来れない場合は、例えば児童館などで受け入れるような柔軟な対応に少しずつ市も協力してくれているが、うまく活用されているのか。把握はしているか。

(川崎委員)

私は子育て世代包括支援センターで児童相談をやっている。隣接してこども未来館があるが、未来館では高校生までの子どもたちが、夜8時ぐらいまで遊んでいる。平日の学校のある時間に不登校の子たちが来るが、現在は受け入れている。

場合によって、親御さんに連絡したりすることもあるが、なるべく子ども達の場所ということを重視するため、子ども達を受け入れていて、同じく児童館の方でも受け入れをしている。必要があれば、支子育て世代包括支援センターへ情報がくる。

(事務局)

不登校については、全国的な調査でも12年連続で過去最多を上回っている。文科省としても全国的に何とかしないとイケないということで、3年前にCOCOLOプランというものを発出して、大きく舵を切っている。

今までの不登校対策は何かして教室に返そうということが一番だったが、これ

からは必ずしも教室復帰を前提とせずに取り組んでいこうとするもの。

児童館等でも、これまでも不登校の子ども達にも手を差し伸べるということで、指導員と個人的な関係ができて、家から出てくるというような事例もいくつかあったが、去年より児童館全体の方針として、不登校対策に取り組むことになった。

(高堀指導主事)

児童館に行っている子は、学校も保護者から話を伺って把握している場合もあるし、状況によっては児童館と連絡を取り合うようなケースもあると思っている。不登校はここ数年で問題行動ではなく、状態の一つであるという捉え方をしているので、様々な要因が重なって、学校に足が向かない子がいた場合に、その子にとってどのように周りが関わっていくのが良いのか考えながら、学校復帰が全てではないということで、ここ数年、教育委員会としても進めてきた。

学校教育課にスクールソーシャルワーカーがいるが、学校や家庭と連携したりしながら、児童館に出向いて、その子たちと関わるケースも中にはあるし、すべてのケースで同じように対応するわけではないが、色々な立場の者が子どもたちに関わりながら、よりよい方策をとっているのが現状。

(5) 令和8年度小牧市少年センター運営計画(案)について

○資料に基づき少年センターより説明

(河内委員)

健全育成モニター廃止の件だが、私たちが補導員として集まり、情報交換する時に話し合ったことを提出すればよいのか。それか今までのように、こんなことがあったと都度報告した方がよいのか。

(事務局)

どちらでもよい。日頃の活動の中で感じたことを、月に1回集まったときに出し合っていただき、補導員の報告で送っていただいてもよいし、日頃気づいたことを、メールやFAX、電話など都合の良い方法で報告していただければよい。少年センターは月に1回程度で、まとめたものを報告していきたいと考えている。

(河内委員)

緊急性のあるものはすぐに少年センターに連絡して、そうでないものは1ヶ月まとめて月1回報告するということがよいか。

(事務局)

それで結構です。

○原案のとおり承認

4 懇談

(松本委員)

ラピオから小牧駅周辺に若者が集まりやすいが、どうしてか。

(事務局)

図書館の北側は賑わい広場という名前でもあり、名前のおり人を集める場所。ラピオ、図書館は夜遅くまでやっているし、図書館の北側は通路になっていて封鎖することができない。

12月からラピオと図書館北側をつなぐペDESTリアンデッキが禁煙区域となり、大人も含めて禁止になったので喫煙は徐々に減っているが、小牧山イーストパークなど西の方に若者たちが移動している傾向がある。

(大谷委員)

毎朝出勤中に賑わい広場からペDESTリアンデッキを通り、自転車の施錠状況を確認しているが、タバコを吸っている学生がいた。子どもたちがタバコを吸っていても大人は注意しない。そのため、タバコを吸っていても大丈夫だろうと思っていたのではないか。

(安藤会長)

応時中学校で補導員をしている。巡回では年に1回中央図書館まで行く。モニター制度も廃止されるので、他の中学校も自分の地域だけでなく、市の中央まで出て巡回するのはどうか。

(事務局)

見せるパトロールとしてベストを着てもらうのはいいと思います。多くの学校は距離的な問題がありますが、小牧中は集合場所が小牧駅なので報告などをしてもらっている。パトロールではなく生活の中で報告することはいいのではないか。

(河内委員)

岩崎中学校区の補導員をしている。味噌市民センターに集まり、40分程度巡回する。年に2回程度パークアリーナの巡回もするが、7時ごろから巡回するため、悪いことをしている子どもに遭遇しない。ただ、見せるパトロールはいいと思うので、小牧駅前の周辺の見回りを一度計画してみたい。

(井上委員)

少年の生活意識と行動の結果が学校に届いた。経年変化を見ることができる。今年、県の学校図書館研究会の会長をしているが、全県的にも小学校高学年になると本を全く読まなくなり、人とのコミュニケーション能力が弱くなったり、スマートフォンやSNSなどの様々な危険性や不登校、いじめ、暴力行為、自殺などの様々な問題があるが、読書は非常に大きな力を持っていると思う。

(上井委員)

味噌中学校のPTA活動で古本を児童に提供している。だが、周りのブースと比べて、生徒に関心を持ってもらえていないと感じる。学校ではタブレットを使用しているので、本に触れる機会が減っているため、この活動を続けていきたい。

(大谷委員)

去年1年間で市内では1,340件の犯罪がありました。そのうち31%は自転車盗。無施錠で盗まれたものが71%。被害者の年代は、小中高校大学で盗まれた件数が50%を超えているので、こどもたちに施錠するように呼び掛けていきたい。

5 連絡依頼事項

令和8年度のスケジュールについて連絡